

# 競 技 注 意 事 項

☆今年度はすべての大会において、5支部→6支部の順で競技を行います。ご注意ください。

1. 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則に準じて行われます。
2. レーン（コース）および試技順序は、予選・準決勝・決勝とも主催者側で決定します。なおフィールドの試技順は、プログラム記載の上より下へという順序で行います。
3. 選手の招集（コール）は、次のように行われます。

- ① 予選・準決勝・決勝のいずれも、代理人による招集申告は認めません。なお、他種目を兼ねて出場する者で、招集時間に間に合わないような場合は、その事情を事前に競技者係および必要な審判員に申し出てください。また、出場を棄権する場合には、本人あるいは代理の者が競技者係に必ず申し出てください。

② 招集（コール）の時間は次のとおりです。

競技開始 40 分前に競技者係の所に集合し、その際にアスリートビブス・サイドビブスの確認を受けてください。競技開始 30 分前に完了とします。また試合前現地でも招集を行いますので、必ず受けるようにしてください。棒高跳は 1 時間前に招集を行い、競技開始 50 分前に完了とします。リレーのオーダー提出は競技日程に記載された時刻を締切とし、以後は受け付けません。オーダーを提出しない場合にはリレー競技に参加できません。十分にご注意ください。

4. アスリートビブスは胸・背部の両面に確実につけてください。ただし跳躍の選手は胸部または背部の一方のみでもかまいません。サイドビブスはすべてのトラック種目で使用します。右腰後側にきちんと付けて招集を受けてください。なお、男子 5000m・3000mSC および女子 3000mについては、アスリートビブス・サイドビブスはレーン番（プログラム ORD）で作成し使用してください。安全ピンも各校にて用意してください。
5. リレー競技に参加するチームは必ず全員同一色のユニフォームを着用してください。
6. 競技用具（投てき用具等）は、検査により使用を許可します。ただし、破損の場合の責任は負えません。競技場の用具も貸し出します。
7. 走高跳のバーの上げ方は次のようになります。また最後の一人に残った者がそれ以降の高さを選択することができます。

男 子 （1.50） 1.55 1.60 1.65 1.70 1.75 1.80（以降 3 cm 刻み）

女 子 （1.20） 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50（以降 3 cm 刻み）

8. 三段跳の踏切板から砂場までの距離は、男子 11 m、女子 8 m です。
9. 投てき種目の試技は 3 回とします。またその他フィールド競技はトップ 8 が決まったところで競技を終了します。  
また制限時間について、走高跳と棒高跳 60"、その他フィールド種目は 45" とします。
10. 次ラウンド・都大会進出を決定する際、トラック種目に関して同タイムの者が出た場合は**抽選を行います**。  
抽選は本人あるいは代理の者により、**放送連絡後 20 分以内**に行う。**来ない場合は権利を放棄したもの**とみなします。  
また**走高跳はジャンプオフで、走幅跳・三段跳・砲丸投はセカンド記録、サード記録で、その他の投擲種目は都大会進出者を決める試技（公認記録とはならない）を行い決定**します。
11. 競技の進行上審判長の判断で、女子 3000m－15 分、男子 5000m－20 分、OP 男子 3000mSC－13 分で打ち切りとすることあります。打ち切り時には合図をしますのですみやかにレースを中止してください。また、打ち切りタイム 1 分前に最終周にかかっていない選手は、その時点で打ち切りとします。出場人数が多い組については、9 位以降の記録が発表できない場合もあり得ますので、あらかじめご了承ください。
12. オープン種目以外で、それぞれ 8 位までに入賞した選手には賞状を授与します。
13. シューズの使用に関しては、日本陸連競技規則 TR5 を遵守してください。なおワールドアスレティックス(WA)のリストは専門部 5・6 支部 HP をご覧ください。
14. 3000mSC に出場する選手は、危険防止のため必ずスパイクを必ず使用してください。
15. AD カードは陸上競技専門部から各支部長を経由し、各校顧問宛に送られています。送られた AD カードは指示に従って作成し、大会会場にいる間は必ず見えるようにしておいてください。撮影する場合は必ず AD カードが見えるように付けてください。付けていない場合は声がけをさせていただきます。

16. 暑熱対策について

(1) 氷など暑熱対策に必要な物は、各校で責任をもって準備してください。

(2) WBGT（暑さ指数）が31度を超えた場合、本競技会を中止または中断、競技方法の変更を行うことがあります。

その場合でも返金はありません。

(3) 1500m以上の長距離種目については、ゴール付近（マラソングート）に限り、フィニッシュ後の給水や介添えを認めます。なお人数は、選手1名につき介添え者1名とし、役員の指示に従って給水や介添えを行ってください。

17. 荒天やWBGT（暑さ指数）が31度を超えて、大会を中止せざるを得なくなった場合、申込時の申請公認記録の上位8名・8位の選手を都大会に進めるものとする。よってリレー競技では3年生を含まない記録を有していることが望ましい。

18. 大会結果に関しましてはHPをご覧ください。